Sandwich

2021 年度 第2学年 学年通信 12月17日 第8号

発行者:粟飯島 正義

~『仲間の声を聴く』ということ~

素敵な合唱をありがとう。全てのクラスの練習に取り組む姿を見たとき、誰もが一生 「整命歌っていました。練習が始まるときには、自分たちで「並ぼう」とか、「切り替えよう」 と声をかけていました。自然と声かけができたあなた。立派でした。その声にしっかり答え るように練習に取り組むあなた。立派でした。

歌うときには、歌うことが得意など、好きなどが静むを聞けるように歌っていました。あなたのその歌音に、クラスのみんなは聞けられたと思いました。繁張しながら近い保育館で歌うと、まわりの音が聴こえず、「首分ひとりで歌っているんじゃないか」って不安になるもの。そんなときに、あなたの歌声が頼りになったのです。「ひとりで歌っているんじゃないんだ」って。静むの音を聴きながら歌うと心が望かくなるものです。それが誰かの「安心」につながるのです。

また、8組の仲間に進んで声をかけている人もいました。そんなあなた。光流でした。8 組の仲間があなたのクラスに入るって、とても繁張するし、不安を懲じるものです。そんなときに、「こっちだよぉ~」って声をかけてもらえると、安心できるものです。安心できると、しっかり声を出して歌えるものです。「みんなともっと一緒にいたい」って思えるものです。

「合唱 どうだった?」とある人に聞いた。「自分は合唱 が好きだから、すごく楽しくて、 気持ちよく歌えた。」と言っていた。さらに、「みんなも、もっと歌えばいいのに。そうした らもっと楽しいのに」と言っていた。あなたのまわりにいる仲間の声に質を 傾 けてみよう。